

< 基本操作編 >

基本的な操作方法については、NTTドコモ社製「onefone™」(以下、「onefone」という)をご購入時に添付されている取扱説明書 P423 ~ をよくお読みのうえご利用願います。



「onefone」を利用して困った場合は取扱説明書479ページ以降をご確認下さい。



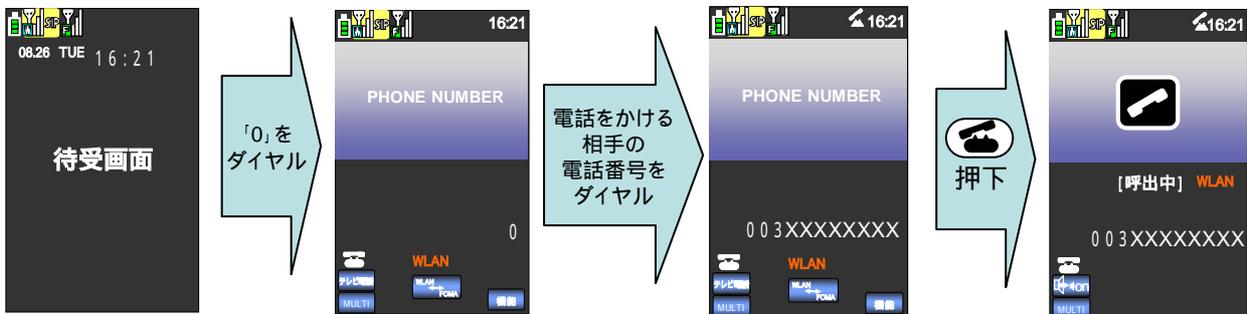
外線への発信方法

< 外線発信 >

本システムから外線発信できます。

1. 「onefone」本体の数字ボタンで外線捕捉用特番(初期値:0)を最初にダイヤルする。
2. 電話をかける相手の電話番号をダイヤルし、を押す。

電話をかける相手の呼び出しを開始いたします。



上記は、外線特番自動付与機能を利用しない場合です。
「onefone」の外線特番自動付与機能をご利用の場合、1. の操作は不要となります。
上記は、外線捕捉用特番が「0」のときに外線発信を行う例です。

他の内線電話機にかかってきた着信に应答する

< 代理应答 >

他の内線電話機にかかってきた着信に应答することができます。

1. 「onefone」本体の数字ボタンで代理应答用特番「##」をダイヤルし、を押す。



上記は、代理应答用特番が「##」のときに代理应答を行う例です。

＜ 保留操作編 ＞

保留方法

＜ 通話中保留 ＞

通話中の通話を保留することができます。

1. 通話中に **CLR** を押す。

相手に保留音が流れます。
保留中に相手が電話を切った場合は、通話が切れます。

2. 電話に出られる状態になったら **CLR** を押す。

元の通話に戻り、再度お話しすることができます。

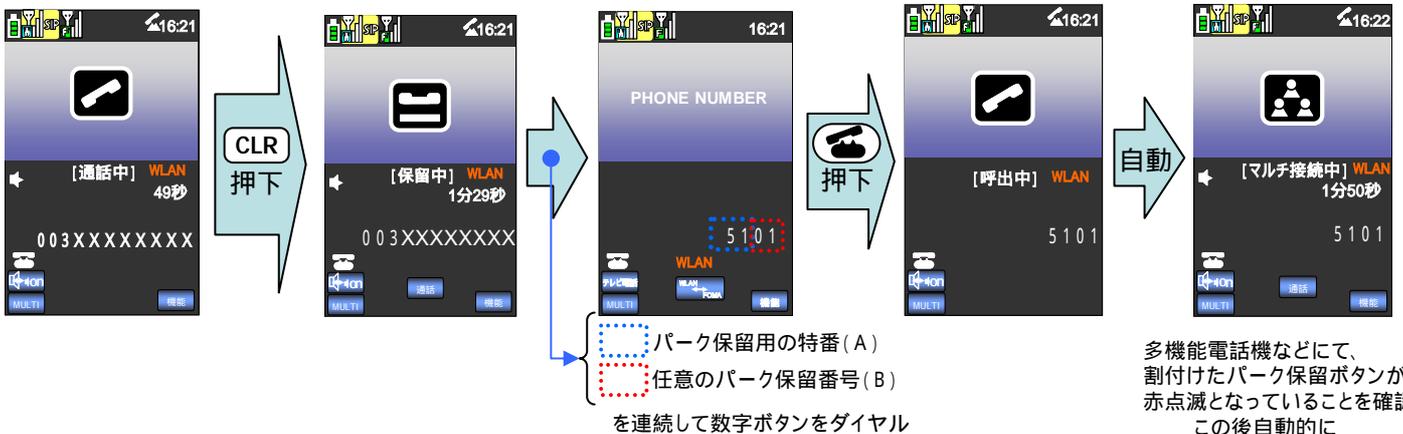


パーク保留を利用して保留する

＜ パーク保留 ＞

通話中の通話を保留し、システム内で共有します。

1. 通話中に **CLR** を押す。
2. パーク保留用の特番(A) (初期値:51) + パーク保留番号(B) の数字ボタンをダイヤルし、 を押す。



上記は、パーク保留用の特番が「51」のときにパーク保留を行う例です。

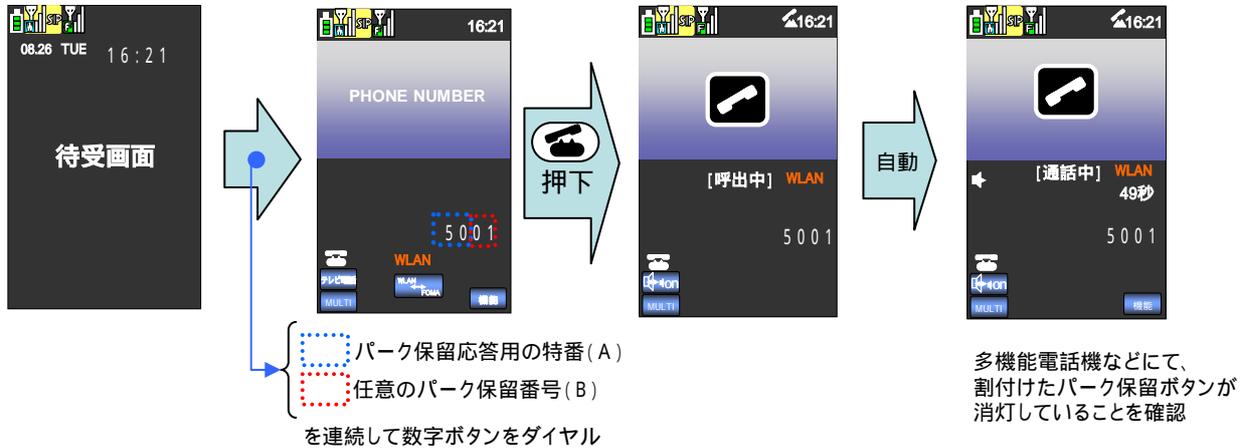
パーク保留用の特番 (A)		パーク保留番号 (B)					
保留時		保留ボタン1	保留ボタン3	保留ボタン5			
解除時		保留ボタン2	保留ボタン4	保留ボタン6			

パーク保留された通話を解除する

< パーク保留応答 >

システム内で共有したパーク保留を解除します。

1. パーク保留応答用の特番(A) (初期値:50) + パーク保留番号(B) の数字ボタンをダイヤルし、 を押す。



上記は、パーク保留応答用の特番が「50」のときにパーク保留応答を行う例です。

保留転送方法

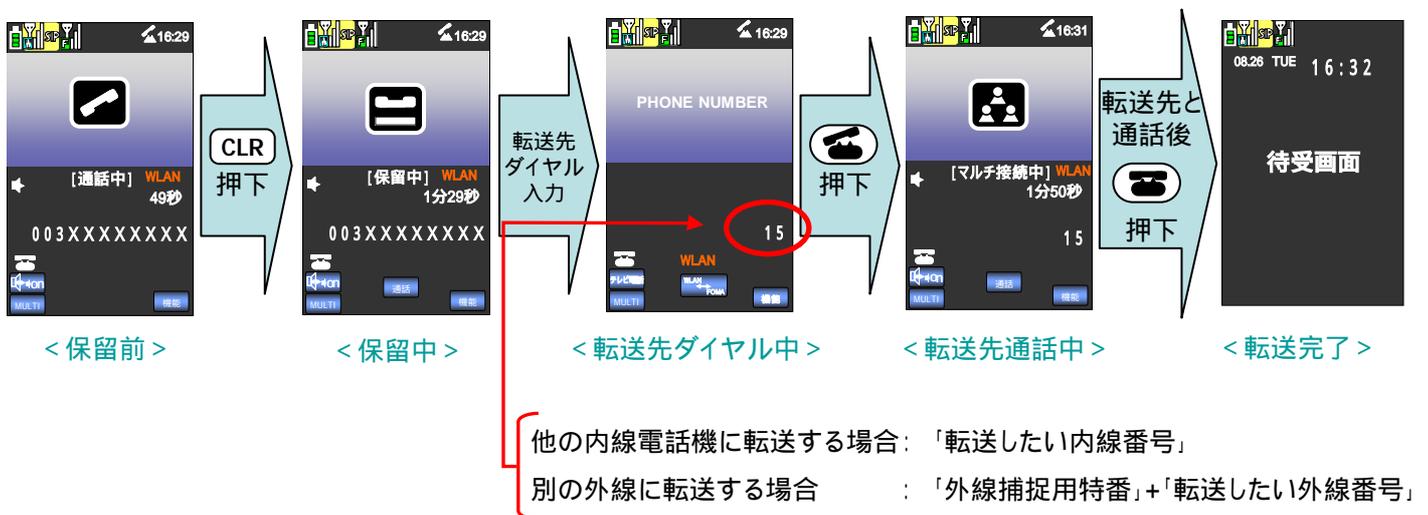
< オンフック転送(通話中転送) >

通話中の通話を保留し、システム内の電話機(内線)や他の電話番号に転送することができます。

1. 通話中に  を押す。
2. ディスプレイに【保留中】と表示されていることを確認。
3. 転送したい内線番号、または「外線捕捉用特番(初期値:0)」+外線番号を「onefone」本体の数字ボタンをダイヤルし、 を押す。
4. 転送した相手先と通話後、 を押す。 < 転送終了 >

3. の操作は外線特番自動付与機能を利用しない場合です。

相手先が話中または、不在等で保留した通話に戻る場合は、 を押して下さい。



上記は外線との通話を他の内線電話機に転送する例です。

転送先を呼び出したまま転送を行う方法

< 呼出状態転送 >

通話中の通話を保留し、システム内の電話機(内線)や他の電話番号を呼び出したまま、転送することができます。

1. 通話中に **CLR** を押す。
2. ディスプレイに【保留中】と表示されていることを確認。
3. 転送したい内線番号、または「外線捕捉用特番(初期値:0)」+外線番号を「onefone」本体の数字ボタンをダイヤルし、**☎** を押す。
4. 転送先を呼び出し中に **☎** を押す。 < 転送終了 >

3. の操作は外線特番自動付与機能を利用しない場合です。

相手先が話中、または、不在等ビジー音聴取となった後、保留した通話に戻る場合は、

CLR を押して下さい。

転送先の方が電話に出ない場合、転送先の呼び出しが継続したままとなってしまいます。
(回線ボタンを持たない電話機では、本操作後に保留していた通話に戻る事ができません。)
転送先の方が電話に応答できることを確認してから、本操作を実施していただくことをお勧めいたします。



他の内線電話機に転送する場合: 「転送したい内線番号」
別の外線に転送する場合: 「外線捕捉用特番」+「転送したい外線番号」

上記は外線との通話を他の内線電話機に転送する例です。

「onefone」内線コードレス利用の注意事項

< WLANモードでご利用時の注意事項 >

「onefone」からの発信時、WLANのサービスエリア内においても「110」「118」「119」等の緊急通報番号については、必ずFOMAネットワークへの発信となります。「onefone」にて保留した通話を転送する場合は、ディスプレイ画面の状態を確認して操作して下さい。保留転送時、転送先ダイヤルの後に#をつけても即時発信となりません。**☎**を押して発信してください。WLANモードで利用する場合、「ドライブモード」「非通知着信拒否」「電話帳登録外着信拒否」等の「着信拒否」の設定をしないでご利用下さい。「onefone」で通話中のメニュー操作(「onefone」取扱説明書p426「WLAN音声通話中画面」の一部メニュー)については、対応していません。動作中(着信・発信・保留・内線通話など)にWLANのサービスエリア外に出た場合、動作中の機能などに支障をきたす場合がございます。WLANのサービスエリア内でご利用願います。

< IP対応ビジネスホンでご利用になる場合の注意事項 >

「onefone」のプレゼンス機能、メッセージ機能はご利用する事ができません。「onefone」から他の内線電話機へ非通知発信はできません。「onefone」では共通保留/共通保留への応答を行うことはできません。「onefone」を内線コードレスとして利用し、WLANサービスエリア外にいるときもFOMAネットワーク経由で着信したい場合は、主装置にて「圏外転送」の設定が必要となります。外線との通話を別の外線に転送する場合は、主装置に別途設定が必要です。「onefone」でパーク保留/パーク応答への応答を行う場合は、主装置にパーク保留の設定を行う必要があります。特番の設定はお客様個別にご指定いただくことが可能です。「onefone」ご利用時、主装置のエコーキャンセラ機能(利用時は別途オプション品が必要)をご利用になっていた場合、ノイズをキャンセルする機能の動きにより、ご利用の環境によっては、通話相手の音声が一瞬ミュートされる場合がございます。エコーキャンセラ機能については、通話相手との通話経路上にアナログ/デジタル変換がある場合は、設定を推奨としていますが、ご希望に応じエコーキャンセラ機能の取り外し工事を行います。各種特番の設定はお客様個別に指定していただき、工事にて設定変更可能です。上記のIP対応ビジネスホンの設定をする場合は、お買い求めいただいた販売担当者にお申し付け下さいますよう、よろしくお願い致します。なお、設定変更及び工事等をする場合は、別途工事費が必要となります。